

CAFEO-36（シンガポール大会）参加

シビルNPO 連携プラットフォーム
法人正会員（NPO法人 シビルサポートネットワーク 理事）

出崎 太郎



シンガポールの南 セントーサ島

昨年 11 月シンガポールで開催された CAFEO-36 に参加しました。今回はシンガポールのリゾートアイランド セントーサ島で行われ、そのテーマは “Engineering Rail Connectivity” と “Fostering Excellence in Engineering Education” の二つでした。セントーサ島は 6 月に米国トランプ大統領と北朝鮮金委員長が会談したことで世界の注目を集めました。この記念すべき場所で行われた大会の一端を紹介いたします。

1. CAFEO とは

CAFEO(Conference of ASEAN Federation of Engineering Organizations)は、非政府系組織による東南アジア技術者の交流大会で、構成 10 カ国が毎年持ち回りで開催しています。日本はオブザーバーとして参加していますが、他に常連国のオーストラリア、韓国なども参加しています。参加者は、原則現地集合・現地解散で、自費での参加です。

私は日本技術士会の一員として 21 回大会から連続して参加しており、今大会で 16 回目になります。

2. CAFEO-36

CAFEO-36 は 11 月 12 日(月)から 14 日(水)までの開催でした。セントーサ島は、本島から約 600m 南に位置しています。東西約 4km、南北約 1.5km、面積約 4.71km²で、政府の観光政策で開発されてきた島です。この島のあちらこちらにレジャー施設やアトラクション施設、ホテルが配置されています。そのホテルのひとつで米朝首脳会談が行われたのです。

初日は Registration と 19:00 からの Welcome Dinner が予定されているだけでした。ほぼ 1 時間遅れで始まった Dinner で日本からの参加者と初めて顔を合わせました。主催者による歓迎スピーチの後、ステージで各国のパフォーマンスが行われました。このパフォーマンスはこれまでは最終日のさよならパーティで行われていたものです。日本は若い技術者が空手を披露し AKB48 の曲で歌い踊っていました。



セントーサ島



日本のパフォーマンス



参加者による Presentation

二日目から本格的な CAFEO 行事が行われました。Opening Ceremony の後、二つのテーマと Women Summit が並行して行われました。翌日最終日はメンバー国の Country Report を加えて夕方まで続き、参加者の Presentation が行われました。参加者は各 Room 自由に入出入りして参加できます。

最終日 18:00 から Closing Banquet が開かれました。各国伝統衣装での参加が求められます。シンガポールの伝統舞踊が披露され、AFEO メンバー国功労者の表彰、次回開催国インドネシアへの引継ぎが順次行われました。最後に若い技術者がステージへ上り、歌い踊って別れを惜しんでいました。



Closing Banquet での交流

3. 最近の状況と次回の開催

CAFEO では組織委 AFEO や FEIAP のミーティングも同時に行われるようになってきています。FEIAP (Federation of Engineering Organizations in Asia and the Pacific) は、アジア太平洋地域のエコノミーにある技術士会（日本においては日本技術士会）の集合体です。ASEAN 諸国が中心となり、その周辺エコノミーである日本、韓国、台湾、中国、オーストラリアなどを含んでいます。最近ではナイジェリアなどアフリカ方面のエコノミーも参加するようになってきているとのことです。



ASEAN では 2015 年末、加盟する 10 カ国が域内の貿易自由化や市場統合などを通じて成長加速を目指す広域経済連携の枠組み「ASEAN 経済共同体 (AEC)」が発足しました。当時で域内人口は欧州連合 (EU) を上回る計 6 億 2000 万人、域内総生産が 2 兆 5000 億ドル (約 300 兆円) に達する巨大な経済圏です。投資、人の流れを自由化し、関税を撤廃して域内の自由貿易圏実現を目指しています。

次回は、本年 9 月 11 日から 14 日までインドネシアのジャカルタで開催されます。最近では学術的というより交流が主という感がありますが、技術者であれば CAFEO-37 のホームページから参加費を添えて申し込めばだれでも参加できます。今回、日本技術士会の青年組織から 25 人もの若い技術者が CAFEO の若い人たちのプログラム YEAFEO に参加しました。このような交流の機会を踏み台に今後の国際的な活躍を期待したいものです。